

1期4年間を振り返って！



任期（3月5日）まで頑張ります（議員一同）

平成25年3月から、議員定数が4減となり、14名でスタートした第3期南阿蘇村議会でしたが、あっという間に4年が過ぎようとしています。

この4年間で、様々な案件を村の議決機関として審議してまいりましたが、まだまだ多くの課題が残っております。また、熊本地震により、本村は今までにない厳しい状況にあります。村民の皆さまの声に寄り添う議会であるよう努めてまいりましたが、不足した部分は次期の議会に託し、より良い南阿蘇村づくりを村民の皆さまとともに、推進していきたいと存じます。

早いもので議員14名、3月5日で任期満了を迎えます。

我々は村民の皆さまの大きな声、小さな声、声なき声、弱者の声、被災者の声等、すべての声を把握し、これを代表し、その心を大事にして活動を行ってまいりました。

「選良」という言葉がありますが、選ばれて議員となり、住みよい南阿蘇村をつくる熱意に燃えながら東奔西走した4年間でした。村の懸案事項であった、中学校統合、新庁舎建設着工、全国的課題である子育て支援の充実等の政策が実現し、ラストスパートをかける時期に「熊本地震」が発生。

犠牲者を悼み、そして、我が故郷の変わりをはてた景色に、

涙を流しながら歯をくいしばって、議会の使命、議員の職責を果たそうと「皆様の声や心」を代表し、一生懸命努力したつもりであります。

これから「復旧、復興」は険しく遠い道のりとなりますが、新たな陣容・陣営で村の為に精進されますようご祈念いたします。

最後に、村議会をご支援いただいた村民の皆さま、村執行部、仲間として頑張っていたいただいた議員各位に厚くお礼を申し上げますとともに、議会活動を支えていただいた議会事務局職員の皆様方にもお礼申し上げます。4年間お世話になりました。

南阿蘇村議会議長

荒牧 俊一

編集後記

新年明けまして、おめでとうございます。昨年は震災をはじめ、自然災害の多い一年でした。今年こそは平穏無事である事を願うばかりです。

村にとって今年、復興元年の大事な一年になります。特に生活再建、地域コミュニティ再生は大きなテーマです。村議会も被災された方々に寄り添った迅速な対応が求められています。そうした中、村政の今を正確に伝え、行政・議会と村民をつなぐ議会広報誌の役割は益々大きくなっていきます。その使命感を持ちながら、次の4年間も編集に携われたら嬉しく思います。これまで議会広報誌「すいげん」にお付き合いいただき、誠にありがとうございました。

議会広報特別委員会

委員 太田 吉浩

議会広報特別委員会

委員長 桐原 純男
副委員長 市原 秀志
委員 協坂 春喜
委員 後藤 征昭
委員 丸野 健一郎
委員 太田 吉浩

発行責任者

議長 荒牧 俊一